

————— 中3生 虎の巻 —————

岐阜県

高校入試 **逆転合格**のポイント

家	庭	教	師	の	ト	ラ	イ
個	別	教	室	の	ト	ラ	イ

■ 入試情報

入試日	合格発表	内申点計算方法
■ 標準検査：3月7日（木）	■ 標準検査：3月14日（木）	1年生の学年末×1 2年生の学年末×1 3年生の学年末×2 合計：180点満点

■ 内申書情報

内申点は、中1～中3の成績が9科目5段階で評価され、以下のように計算されます。 $\{(中1：9科目 \times 5段階) + (中2：9科目 \times 5段階) + (中3：9科目 \times 5段階 \times 2倍)\} \div 4 = 45$ 点満点で換算されます。

■ 一般入試

岐阜県公立高校入試における合否判定の基準は、中1～中3の内申点と学力検査の総合判断となります。

学力検査では、原則全ての公立高校が、国語・社会・数学・理科・英語の5教科の試験を行います(100点満点×5教科)。内申点と学力検査の合否判定基準の比率は学校により幅があり、3:7、4:6、5:5、6:4、7:3から、各校が決定します。また、内申点・学力検査の他、実技試験や面接を実施する高校もあります。

このように、各校で試験制度に大きな差が生まれる場合もあるので、志望校ごとに事前に調べておくことをお勧めします。

■ 科目別対策

英語

- **英文の文章量が多い！**
- **集中力と速読がカギ！**

意外に対策を怠りがちなのがリスニングです。リスニング問題で使われている単語や文法は中学校1年生や2年生レベルのものがほとんどです。リスニングは確実に高得点を確保できるように、ポイントを掴む訓練をしておきましょう。また、他県と比較しても文章量の多い読解問題は早期対策が必要です。単語・文法の理解→精読力→速読力の対策は入念にしておこう。

数学

- **大問1は確実におさえる**
- **オーソドックスな問題が並ぶ**

過去の傾向をみても大問1の配点は非常に高い。角度・線分、平面図形の面積を求める問題、グラフの読み取りなどの基本問題が並ぶため、確実に点数につなげていきたい。数学全体を通し、各大問に1問程度、難問が出題されている。全体的に問題数は多いので時間配分には注意をしよう。他教科と比べて過去問題への取り組みは早期から実施しておこう。

国語

- **長文読解50点の配点！**
- **難問なし。得点源に！**

小説と論説文の長文読解問題が半分の配点となっています。難易度は決して高くはないが、小問数が多いのが特徴でしょう。記述問題に関しては難易度は高くありませんが書き慣れておくことが重要です。様々な指示や条件に合わせて回答する力が求められるため、全国の入試類題を探して対策しておくとは非常に効果的です。記述演習は十分に行っておきましょう。

■科目別対策

理科

- **グラフや図の描画問題**
- **説明問題が増加傾向**

難問・奇問の出題はないため、教科書レベルの問題を確実に解けるようにしておこう。物理分野は複雑な計算を用いる必要もなく、教科書に出てくる公式を正しく使いこなす演習を積んでおけば全く問題ありません。また、短文説明を求められる問題が出題されるため、教科書レベルの知識・語句を正確に説明できるトレーニングはしておきましょう。

社会

- **地理の資料問題がチャンス**
- **歴史は年表を使って覚えよう**

地理は地図や統計表・グラフ・写真等の資料から必要な情報を読み取り、解答につなげる訓練をしておこう。歴史では年表問題が出題される傾向が強いため、ワードだけ覚えるのではなく、年表を作成して整理する学習もしておくのが効果的でしょう。公民分野は普段から新聞を読み、現代社会の重要用語は説明できるようにしておこう。

内申点

- **内申点の割合が高い**
- **定期テストが大きく直結する**
- **入試対策と並行しよう**

合否判定における内申点の割合が高いのが、岐阜県入試の特徴です。それゆえに、入試対策はもちろん、3年生最後の定期テストの対策も並行してしっかり取り組む必要がある。余裕を持って当日の試験に臨めるよう、内申点を確保しておきたい。